

3. 北関東（地域別調査機関：（財）日本経済研究所）

（-：回答が存在しない、：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計 動向 関連	良くなる やや良くなる	-	-
		コンビニ（経営者）	・これからは家族連れやグループなどのまとめ買いの客が多くなる。
		乗用車販売店（営業担当）	・久しぶりに新型車の投入があり、来場者数の増加が望める。
		一般レストラン（経営者） 通信会社（営業担当）	・食材の値上がりによる自店への影響は徐々に響いているものの、地域の客の動きが今のところ、どこに行っても良い。 ・来月以降、ガソリン価格の高騰等で消費は落ち込む方向にあるが、6月のボーナスでオリンピックに向けデジタル家電の需要が拡大する。
	変わらない	一般小売店〔家電〕（経営者）	・価格が安定しない限り家電製品等の購入は見込めない。アナログ放送停止とは言われているが、デジタル機器の買い急ぎもなく、修理をするなら仕方なく買い換えのケースが多い。購入意欲、消費者動向が見えないので先行きは厳しい状況である。
		百貨店（販売促進担当）	・消費行動におけるファッション衣料、服飾品等のプライオリティは依然として低く、生活必需品以外の消費は引き続き慎重である。
		コンビニ（店長）	・現在のような状況が続く。若者が店にいる姿がまるで見えなくなっている。特に深夜は閉めた方が良くらい暇である。
		乗用車販売店（販売担当）	・来客数が減少していることは事実である。2～3か月先もそれほど上向きにならず、だいたい現状程度だと思われる。
		乗用車販売店（営業担当）	・月の半ば過ぎまでは少し出していた商談件数も、20日を過ぎてからは無くなった。客の動きも鈍い。
		自動車備品販売店（経営者）	・当地域では特に良くなる要因がまだ見当たらない。今回のガソリン税のような問題があると多少物が動いたりするが、特にこれといった要因は見当たらない。
		住関連専門店（仕入担当）	・5月単月で見ると前年より休日のつながり方からやや上積みが見込めるが、それ以外に具体的な回復要素がない。
		都市型ホテル（経営者）	・市内の自動車産業が最大手の傘下になり、市内工場がフル稼働と聞いている。これに伴い、町が活気づくことも考えられるが、今までの減少分を考えると現状維持が妥当である。
		ゴルフ場（従業員）	・予約状況等見てもほぼ前年比で同程度である。数字的にも来客数は変わらない。単価の動きに関してもほぼ横ばいであり、かなり低価格の路線が続く。
		ゴルフ場（従業員）	・来場予約の数が増えない。
		競輪場（職員）	・前年同様の大会があり、購買額、発売額がほとんど同じ額であった。
その他レジャー施設〔アミューズメント〕（職員）	・エンターテインメントというか、やすらぎに対する客の消費の余力が少なくなっているような気がする。ただ、そういった需要はあるし、ある程度安くて、近くて、短いということから、ネットカフェ、アミューズメントパークを利用することは当然あると思う。しかし、大きく好転するというような要素は見受けられないので、今の若干良くない状態が続くと考えている。		
住宅販売会社（経営者）	・賃上げが厳しい状況も変わらず、物価の上昇も激しく、駅前のマンションの売れ残りも目立ち、郊外の新築戸建住宅も百万単位の値下げにもかかわらず、こちらも売れ残っている状況である。		
やや悪くなる	商店街（代表者）	・今人々が買い控えをしている。本当に入用品以外は買物をしない。	
	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店の売上が非常に悪い。	
	百貨店（総務担当）	・社員、従業員の収入が増加せず、天引きされる税金が増加し、使える金が年々減少している。これでは一般的な店では経営がますます悪化する一方である。	
	百貨店（販売促進担当）	・ガソリンや食材等の相次ぐ値上げにより、客の財布のひもが固い。特に高額品が敬遠されがちで、価格に対する考え方がシビアになっている。	
	スーパー（経営者）	・客の購買心理が低下している。	

スーパー（総務担当）	・客の動向を見ていると食料品についてはかなり単価も販売数量も落ちてきている。衣料品については必要な物以外は買わない。ガソリンの値上げ問題、食料品の原材料の問題が客の動向、景気回復の足を引っ張っている。
スーパー（統括）	・良くなりそうな条件が見当たらない。
スーパー（統括）	・値上げは、これからまだまだ続くことが予測され、消費者の財布のひもは更に固くなる。商売としては、ますますねらう客を明確にとらえていかねば生き残れない。
衣料品専門店（経営者）	・身の回りの物が値上がりしてくると衣料品は売れない。
衣料品専門店（店長）	・食料品や燃料費等の生活必需品の値上がりにより、生活防衛のためにファッション商品に対しての需要はますます冷え込む。
家電量販店（店長）	・ボーナス商戦とオリンピック効果が期待のとおり出ればデジタル関連の映像商品が大きく伸びると思われるが、盛り上がりを感じない。
高級レストラン（店長）	・所得が増えないなかで、食品や電気、ガス、ガソリン等、家計を直撃する値上げがあり、客は必要な物以外は金を使わない。こうした状況が改善する要素が全く見当たらない。
スナック（経営者）	・物価高で財布のひもがとて固くなってきている。景気が良くなっていくはずはない。
都市型ホテル（支配人）	・状況が悪いにもかかわらず、新しいホテルが県庁のそばに出来るのでますます厳しくなる。
旅行代理店（従業員）	・前年まで旅行をしていた客が、今年は取りやめになるところが増えている。
旅行代理店（副支店長）	・燃油が一時的に下がったが、原油が上がっているこの先の海外旅行に与える燃油サーチャージが大変高額になる。このため、海外旅行の需要は少なくなる。また、新型インフルエンザ、チベット問題と先行き不安要素が山積みであることも影響する。国内の旅行は増えると思われるが、海外旅行との価格差が問題になる。
ゴルフ場（副支配人）	・こここのところ、コンペなどの2～3か月先の予約の取り込みが好調であったが、今月は5月末から6月ごろの予約の取り込みが若干鈍っている。価格の面もあるが、ガソリンの高騰といった社会的な問題が膨れ上がってきているため、控えている感じが見受けられており、今までの勢いが若干弱まっている。収支については、単価を下げているため、売上が伸び悩んでいる。経費については、固定費が若干増加している。
美容室（経営者）	・現金で支払ってもらおう商売は厳しくなる。当店は年齢層も高く、年金生活者もいるので、美容室に来ることは一つのぜいたくと感じてしまう可能性もあり、当然来店頻度は減る。
設計事務所（経営者）	・設備投資の鈍化、鉄製品等の建設資材の高騰、建築確認の遅れ等により工期の設定が難しい。
悪くなる	
商店街（代表者）	・身の回りの多くの品物が値上がりをしている。商店街の中でも値上げせずに頑張っている店も見られるが、いつまで我慢できるか懸念している。価格が落ち着くまでにはかなりの時間がかかる。
一般小売店〔衣料〕（経営者）	・住んでいる地方の町の様子、また、テレビから流れる国内外の様子、これらをどうとでも良くなるという状況はありえず、やはり悪くなっていく。ガソリン税が5月から上がっていくこと等、いろいろなことを加味すると、いろいろな問題が山積している。早く良くなって欲しいが、どうしようもないことである。
スーパー（販売促進担当）	・石油高騰、乗客数減は続く。価格に対しても非常に敏感になっており、高品質で価格の高い物より、少しでも価格の安い商品に対する購買欲が強いので、量を販売しなければ売上が上がらないが、生活防衛のため、買上点数も下がっており、非常に厳しい状況にある。
乗用車販売店（従業員）	・このままの景況が続けば店舗閉鎖、並びに、人員整理に着手せざるを得なくなり、ますます景気は悪くなる。
都市型ホテル（スタッフ）	・今後2、3か月先に新しい宿泊特化型のホテルが進出して来る。最終的に5つの新ホテルが進出、オープンとなる。地元の良いホテルにはかなり影響するのではないかと懸念されている。
タクシー運転手	・当地域はタクシー料金値上げを一度は見送ったが、再度5月1日から値上げするため、利用客が少なくなる。

		タクシー（経営者）	・1、2、3、4月と月を追うごとに収入が落ち込んでいるのでこの先も悪いと見ている。
		ゴルフ練習場（経営者）	・仕入コストや商品の価格が上がるなか、販売価格の値上げを消費者に理解してもらえない。
		ゴルフ場（支配人）	・ガソリン料金の再値上げにより、県外、もしくは遠方からの来場者は期待できない。マイカーではなくバスパックなどの値引き企画を進めていくしかない。また、原材料費高騰により、各商品の原価率アップが目につく。予約、ゴルフブレイヤーの状況は決して好転していない。
		設計事務所（所長）	・ほんの一部を除いて、同業者や建設業者は倒産の危機に直面している。本当に深刻な状況になっている。
企業 動向 関連	良くなる	その他製造業〔環境機器〕（経営者）	・今までの製造、納品、設置が8月までかかるので、メンテナンスとともに仕事の上乗せになる。加えて前年からの法規制で大型建物からのフロンガス回収が増え、フロン回収機の製造販売、メンテナンスが仕事の上乗せとなる。
	やや良くなる	一般機械器具製造業（経営者） 輸送用機械器具製造業（経営者）	・6月以降建設機械の部品は順次増加し、自動車部品関連は9品がなくなり、新規部品に変更になる予定である。 ・受注量、受注価格、販売量等も非常に多く、大変に好調な状況がしばらく続いている。
	変わらない	窯業・土石製品製造業（経営者）	・例年であれば、この2、3か月が最も多忙な時期となるが、今年はその特注の受注がなくなってしまい、それに代わった受注予定もこれといって良い材料はないが、店頭一般商品受注が割と安定しているので現状と変わらない。ただ、自店販売で特に銀地金の高騰による関係材料の値上げに伴い、順調に推移していた販売量が減少気味である。
		輸送業（営業担当）	・燃料を使って商売している業者としては運賃転嫁による売上の伸びもあるにもかかわらず、利益としては少なくなってしまう状況である。
		その他サービス業〔情報サービス〕（経営者）	・受注の推移からみても、特段の変化は感じられない。
やや悪くなる	食料品製造業（製造担当）	・スーパーに値上げを容認してもらえたが、やはり利益確保の面で更に他の業者とのしのぎあいになり、資金の体力のない企業は倒産に追い込まれて、景気はますます悪くなる。	
	一般機械器具製造業（生産管理担当）	・期待していた建設機械、油圧機器の伸びが鈍化するとともに、鋼材の大幅な値上げが現実のものとなり、現状のままでは確実に状況は悪化していく。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・受注の取り消し等があり、短時間の仕事や試作の仕事しか見込めない。小さい仕事や安い仕事でも拾っていくしかない。	
	電気機械器具製造業（営業担当）	・受注の見通しの悪さと、仕事量が少ないことによって、企業間の競争が激しくなっており、原材料の高騰分を製品価格に転嫁できないため、利益が希薄になっている。	
	新聞販売店〔広告〕（総務担当）	・食品スーパー、ホームセンター店長が、消費者は節約傾向を強めており、チラシの特売品、安い物だけをねらって買う、との話をしている。	
	社会保険労務士	・事業計画が前期と比べ慎重な会社が多い。	
悪くなる	化学工業（経営者）	・仕入れ原材料が高騰したため、製品の値上げを進めているが、なかなか厳しく、時期がずれ込んでいる。そのため、収益を圧迫してきている。	
	電気機械器具製造業（経営者）	・親会社が暇なので、仕事を引き上げたり、困り込んだりする状況である。当社も3月までは目一杯仕事があったが、4、5月とすかさずの状態になりつつある。	
	その他製造業〔宝石・貴金属〕（経営者）	・通常夏場はライトジュエリーといわれる低価格品しか動かないが、これまでそれすら動きがないため、見込みは厳しい。	
	建設業（総務担当）	・当地域において将来の展望が立たないため建設業をやめる企業が後を立たない。	
雇用 関連	良くなる	-	-
	やや良くなる	-	-
	変わらない	人材派遣会社（経営者）	・大手会社はどこの会社も仕事の量が少ない。忙しくなったとしても短い。
		人材派遣会社（経営者）	・5月の連休を過ぎての生産や販売、加工等においては幾分持ち直すものの、人件費は頭打ちでの採用であり、残業等も全業種少なめである。全業種に渡り厳しい状況である。
	やや悪くなる	人材派遣会社（営業担当）	・景気の先行きに不安材料があり、企業は長期的な採用計画を打ち出せないでいる。

	職業安定所（職員）	・ 6月末に工場閉鎖が予定されており、100名以上の離職者が発生する。
	職業安定所（職員）	・ 新卒者の採用意欲はおう盛で、早期に人材確保したい意向が強いものの、求人数が19年度は前年同月比で全月減少している。
	職業安定所（職員）	・ 先行指標である新規求人数が大幅に減少している。特に主要産業である製造業からの求人が減少している。
	民間職業紹介機関（経営者）	・ 実際の数字は深刻ではないが、将来に対する不安が業務展開の積極性を失わせている。戦力には遠い新卒者の入社もあり、求人については、技術、専門の即戦力以外の職種に対して大きなブレーキを掛けようとしている。
	学校 [短期大学]（就職担当）	・ 当地域にはメーカーが多いこともあり、内外の情勢により採用に影響が出始める可能性がある。特に原油価格の上昇や円高による影響で、当初計画していた採用枠の絞りこみや、更なる厳選採用が生じる。
悪くなる		